

第 3 期市民活動促進計画進捗状況について（個別取組）【令和 2 年度（2020 年度）】

1 - 1 誰もが市民活動情報にふれることができる情報の発信

(1) 市民活動情報の収集・整理

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和 2 年度の実績	進捗評価	令和 3 年度の取組予定
市民活動情報データベース化	市民活動にかかわる情報を収集し、データベース化する。	市民活躍支援課	会議やイベント、各種活動に利用できる公共施設の情報を「豊田市の利用できる施設の一覧」として市ホームページに引き続き掲載した。 また、市で把握している豊田市のボランティア団体・市民活動団体・NPO 法人等の団体のうち、公表可団体の一覧を市ホームページに引き続き掲載した。	B	公共施設予約システムを 4 月 1 日から運用開始する。市民活動情報サイトを令和 4 年度にリニューアルするため、市民活動情報にアクセスしやすいサイトを検討する。

(2) 効果的な市民活動情報の発信

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和 2 年度の実績	進捗評価	令和 3 年度の取組予定
広報誌「つなぐ」発行	とよた市民活動センターの広報誌を発行する。	市民活躍支援課	奇数月に広報誌「つなぐ」を発行し、市民活動情報やセンター事業に関する情報を発信した。	B	引き続き、奇数月に広報誌「つなぐ」を発行していく。
市民活動センターホームページ	市民活動センターホームページに市民活動情報を掲載し、プラットフォーム化する。	市民活躍支援課	市で把握している豊田市のボランティア団体・市民活動団体・NPO 法人等の団体のうち、公表可の 883 団体の一覧を市ホームページに引き続き掲載した。	B	市民活動情報サイトを令和 4 年度にリニューアルし、市民活動情報にアクセスしやすいサイトを構築予定。
退職予定者への情報発信	企業の退職予定者説明会等を利用して市民活動情報を発信する。	市民活躍支援課	主に定年後のシニア世代を対象とし、生きがい活動（就労、学び、趣味、社会貢献等）を始めるためのきっかけづくりとしたリーフレット「セカンドライフガイドブック」を刷新し、関係団体・施設への配架や HP への掲載を行った。	B	引き続き、情報提供を行っていく予定。
広報力向上セミナーの開催	市民活動団体を対象とした広報セミナーを開催する。	市民活躍支援課	市民活動団体の広報力向上のため講座を実施した。 <参加者数> 広報力 UP 講座～想いを届ける広報のキホン～：19 人	B	引き続き、広報力向上セミナーを開催予定。
フェイスブック事業	フェイスブックを活用して効果的な市民活動情報を発信する。	市民活躍支援課	フェイスブックは令和元年度で終了。	E	市民活動情報サイトリニューアルを令和 4 年度に実施し、今後充実させていく。
キュレーションアプリケーションにおける市民活動情報提供	キュレーションアプリケーションソフトを活用し、それぞれの興味・関心に合った市民活動情報を提供する。	経営戦略課	行政情報は既に市 HP 等で発信されておりアプリへの情報掲載は行っていないが、民間事業者の業務に関する情報発信ツールとして活用されている。	E	今後の市の関わりは未定。
市民が発信し交流するプラットフォームづくり事業	ウェブサイトの運営や交流会・イベントの開催を通じて、市民の活動やアイデアを市民自ら発信できたり、そこから幅広い市民や団体がつながる場づくりを推進する。	経営戦略課	ウェブサイト「とよたのりのりチャンネル」の管理、運営を実施。 市民等で作り上げる「WE LOVE とよたフェスタ」をコロナ感染症対策を実施しながら開催し、それに伴う実行委員会、出展者の説明会を通して交流を図った。	B	WE LOVE とよたフェスタの開催を基に、様々な団体等が交流できる交流会を実施していく。

1-2 誰もが市民活動に参加できる機会の提供

(1) 市民活動を体験できる機会の提供

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和2年度の実績	進捗評価	令和3年度の取組予定
市民活動見学・体験事業	複数の市民活動現場を見学できる1日見学会や、実際に体験できる1日体験会を開催する。	市民活躍支援課	「つながる博」(令和2年10月から11月)を新たに開催。151プログラムに941人参加し、市民活動を気軽に体験できる場を提供した。	B	「つながる博」を令和3年8月から10月にかけて開催し、市民活動を体験できる場を設定する。
市民活動インターン事業	高校生・大学生を対象とした、市民活動団体等での1週間程度の市民活動体験を実施する。	市民活躍支援課	新型コロナウイルスの状況を鑑みてインターンは出来ない状況であった。	E	実施枠組みを検討していく予定。
高齢者の活躍支援事業	高齢者の市民活動を促進するため、学び・相談・情報提供等の支援を実施する。	市民活躍支援課	学びをきっかけとした市民活動・地域活動の実践を行い、活動支援の充実を図った。社会課題や地域課題等に専門的に学ぶ内容に変更(保育補助員)した。 <参加者数> 通年コース60人(3学科) 専門コース24人 はじめの一步講座55人	B	「とよたシニアアカデミー」事業が適切に遂行していき、より一層、市民活動や地域活動の実践につなげるような講座やカリキュラムを実施していく。
女性の市民活動参画促進事業	結婚や出産を機に活動していない女性が、市民活動への参画も選択肢のひとつとして、自身のライフプランやキャリア形成について考えるための相談や講座・セミナーを実施する。	市民活躍支援課	女性のためのマインドアップセミナーCoCo+を年間20講座実施し、延べ162人が受講した。 主に子育て等で離職中の女性を対象に女性のための学びとつながりの場の提供、自分らしい生き方の選択をするための意識の醸成を目的に実施した。	B	引き続き実施予定。
市民活動センターホームページ(再掲1-1)	市民活動センターホームページに社会課題に関する情報を掲載する。	市民活躍支援課	市民活動情報サイトのリニューアルに合わせて情報を掲載していくことを決定。	B	市民活動情報サイトをリニューアル後、検討していく予定。
豊田市地球市民会議	豊田市に在住、在勤又は在学する外国人市民が、生活するうえでの諸問題や、市の施策に対する意見や提案について話し合い、課題解決に向けた活動ができる場として豊田市地球市民会議を開催する。	国際まちづくり推進課	地球市民会議委員：11か国11人 会議を年7回開催した他、11月には豊田市の外国人市民に対する支援や共生社会について議論する「Integration20/20フォーラム」を開催した。3月には「市長報告会」で、各委員がそれぞれの出身国の市民のコロナ禍の状況や意見等を市長に報告した。	B	外国人市民による活動として自主的な活動を継続していく。(公財)豊田市国際交流協会は、活動の支援を行う。
市民によるアートプロジェクト推進事業	市民が運営する文化芸術に関するプロジェクトを推進し、文化事業に関わりながら地域に貢献できる体制や活動の場を構築する。	文化振興課	●アートサポーターと共に文化イベントを企画・運営 「まちなか芸術祭-Re:HYBRID BUNKASAI-」/2020年2・3月 まちなかの協力店舗5か所、緑陰ギャラリー、とよしば等 アートサポーターを中心に新たなアートイベントを企画段階から創り上げた(出展者数：32組55人、ゲスト5組/来場者数：2,685人) ●アートに触れる機会の実証(移動型拠点)を実施 「ぷらっとアートセンター」/豊田市内各所(11回・8か所) 豊田市内の文化施設や活動者、イベントをアートサポーターとともに訪問し、新たな交流や出会いのきっかけを創出(交流人数：89人) ●豊田独自の文化事業の集約・発信 「TAP magazine」 WEBサイトのリニューアル及び市民ライターとの運営体制を構築(掲載記事数：55件、リリース数：14,451回/市民ライター：3名) ※アートサポーター登録数(201人)	B	以下2点に重点的に取り組むことで、文化芸術活動者の人材育成・発掘や、関心層のすそ野拡大を図る。 ・市民参加型のアートイベントを創り上げていくプロジェクト「まちなか芸術祭」 ・豊田の文化芸術情報を発信し交流を生むプロジェクト「とよたアートプログラム(TAP)」

(2) 社会課題に気づく場の提供

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和2年度の実績	進捗評価	令和3年度の実績予定
市民交流カフェの開催	世代や性別、職種などジャンルを超えた多様な価値観を持つ人が気軽に来たり気軽に語り合えたり、活動者から直接話を聞ける場や、社会課題に自然と気がつく場を提供するため、「市民交流カフェ」を開催する。	市民活躍支援課	「市民活動見せま Show」として、ペDESTリアンデッキ広場等で団体活動を実施してもらい、通行する市民の目に触れる機会を提供し、活動を見せる化した。 7月～10月：4団体	B	引き続き、ペDESTリアンデッキ広場等での団体活動を実施していく予定。
とよた森林学校事業	山に入り間伐ができる人材と森林・林業を理解・支援する森の応援団を育成する講座を実施する。	森林課	年間を通して全7講座(延べ22日)開催し、101人(延べ252人)が参加した。	B	年間を通して全6講座(延べ17日)開催予定。
市民が発信し交流するプラットフォームづくり事業(再掲1-1)	※1-1(2)掲載済	経営戦略課	※1-1(2)掲載済	B	※1-1(2)掲載済

【2020】進捗評価 A・B 9/10

2-1 市民活動を始めやすい環境の整備

(1) 活動を始めるための支援事業の充実

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和2年度の実績	進捗評価	令和3年度の実績予定
市民活動相談事業	市民活動に関する多様な相談に対応する。また、活動場所としての施設を提供する。	市民活躍支援課	新しく活動を始める方、市民活動団体等からの組織立上げや運営、会計等に関する相談を受け、専門家につなげる相談会を実施した。 NPO 運営相談会：8件 会計税務相談会：6件	B	引き続き、各相談会を実施していく予定。
高齢者の活躍支援事業（再掲1-2）	※1-2（1）掲載済	市民活躍支援課	※1-2（1）掲載済	B	※1-2（1）掲載済
環境学習施設工コト学習事業	環境学習施設工コトの展示解説や環境に関する講座の開催を行う市民ボランティア（インタープリター）を育成し、活動の機会を提供する。	環境政策課	3回の育成講座を実施するとともに、来館者及び工場の案内研修を4回実施して、5人（うち1人は事務局スタッフ）のボランティア（第15期インタープリター）の育成を図った。	B	R2年度に育成した4人のボランティア（第15期インタープリター）を逐次シフト等に組んで来館者の対応ができるように育成するとともに、年度末には来年度のボランティア（第16期インタープリター）の育成を実施する。
自然観察の森ボランティア活動支援事業	自然観察の森で活動するボランティアグループへの参加を希望する市民向けにボランティア養成講座を開催する。	環境政策課	コロナ禍の影響で調査ボランティア体験講座のみ実施した。2日間実施予定だったが2日目の参加希望者はおらず、のべ2人が参加した。登録者数は2人。	B	未経験者でも受講できる講座を企画する。インタープリターの養成講座を3日間、調査ボランティアの養成講座を2日間行い、のべ50人の参加を目指す。
とよた森林学校事業（再掲1-2）	※1-2（1）掲載済	森林課	※1-2（1）掲載済	B	※1-2（1）掲載済
交流コーディネート事業	おいでん・さんそんせつにより、都市部と山村部の課題に対して活動を始めた人の相談対応をするとともに、地域組織や活動団体、企業などの交流や活動のコーディネートを実施する。	企画課	・コーディネート件数50件の実績であった。※年度目標値は概ね40件 ・主な内容は、企業・労組を対象としたCSR事業のマッチングや大学等を対象としたインターンシップ事業の受入れ、いなか暮らし体験事業の企画など。	A	コロナ禍で状況が読めないが、引き続き、相談窓口機能を持ちながら、都市部と山村部の交流を促進する。
外国人のためのガイドボランティア育成事業	来訪外国人のおもてなしのために、豊田市の魅力や文化等を英語で案内できる市民ボランティアの育成をする。	国際まちづくり推進課	ボランティア登録者数：25人 ・多言語ガイドボランティア養成講座を2回開催し、ボランティアの育成を行った。 ・ボランティアの派遣を1回実施し、豊田市中央図書館にて図書館バックヤードツアーの案内を行った。 ・その他、多言語ガイドボランティアのケース別行動マニュアルの作成や季刊誌ニュースレターの発行を行った。	B	（公財）豊田市国際交流協会が、継続してボランティアの募集、育成、機会をとらえて派遣（多言語での来訪外国人の案内対応等）を行う。また、蓄積したノウハウを対応マニュアルとして継承していく。
わくわく事業	地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に取り組む事業の経費を補助する。	地域支援課	250事業（うち新規43事業）を補助し、地域住民が主体的に地域の課題解決に取り組む事業を支援した。	B	引き続き、地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に取り組む事業の経費を補助する。
市民によるアートプロジェクト推進事業（再掲1-2）	※1-2（1）掲載済	文化振興課	※1-2（1）掲載済	B	※1-2（1）掲載済

事業名	内容	担当課	令和2年度の実績	進捗評価	令和3年度の取組予定
とよたデカスプロジェクト	アートを通じて豊田市の魅力を市内外へ発信するため、市民が考えたアートプロジェクトの企画の実施を支援する。	文化振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・応募数 36 件 ・採択事業 9 件 ※特別版として従来から仕様を変更した。コースやオプション無しで入選一律 30 万円の賞金設定。また、開催地も豊田市外でも可能と変更した。 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、募集内容を「人と人とが接触することなく実施できるアートプロジェクト」に変更して実施。 ・オンライン上でのつながりや AR など先端技術を活用した工夫を凝らした非接触型アートプロジェクトを支援した。 ・コロナ禍におけるアートの可能性を有効に示すことができた。 	A	コロナ禍を前提として従来版と R2 版をハイブリッドした制度で実施。 【募集】デカスコース 12 件（うち映像配信等に特化した企画 6 件）、ぷちデカスコース 2 件、かみデカスオプションあり ※R2 から引き続き豊田市外の開催でも可能。
地域猫活動支援事業	野良猫の苦情や殺処分数を削減するため、地域猫活動を推進するとともに、活動者への支援として、飼い主のいない猫の避妊去勢手術を無料で実施する。	保健衛生課	支援実施は 204 地域、手術実施頭数は 587 頭であり、前年度（135 地域、495 頭）を大きく上回った。	A	継続支援する地域に加え、新規実施地域に対して支援を実施する。
犬猫の一時預かりボランティアの育成及び共働事業	動物愛護センターに収容された犬・猫のうち譲渡可能な犬・猫の数を増やすことにより殺処分数を削減するため、収容された犬・猫を自宅等で一時飼養するボランティアを育成し、ボランティアに犬・猫を預託する。	保健衛生課	新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の猫の一時預かりボランティア養成講座は、1 回のみ開催した。	B	新型コロナウイルス感染症の拡大状況によるが、猫の一時預かりボランティア養成講座を 2 回開催予定。 登録ボランティア数を増やし、猫の預託を継続する。
動物愛護ボランティアの育成及び共働事業	一般市民への動物愛護意識の普及と市民の生きがいを推進するため、動物愛護ボランティア養成講座を行いボランティアを育成し、ボランティアとの共働により動物愛護教室等を実施し動物愛護意識の普及を図る。	保健衛生課	新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の動物愛護ボランティア養成講座は中止した。ボランティアとの共働による動物愛護教室等も実施できなかった。	E	新型コロナウイルス感染症の拡大状況によるが、動物愛護ボランティア養成講座を開催予定。 ボランティアとの共働による動物愛護教室等については、実施方法検討予定。
歴史学習推進事業	郷土の歴史や文化財を子どもたちに伝えるために市民や学校との連携を強化し、市民が自ら学び、市民や来訪者に伝える活動を促進する。	文化財課	<ul style="list-style-type: none"> ・とよた歴史マイスターの認定・活動の支援(認定延 72 人・参加活動延 132 人) ・郷土学習スクールサポートの実施（利用延人数 20, 181 人、利用延学校数 241 校） ・歌舞伎伝承館での講座開催(4 件 115 人) ・博物館周知事業(企画展「スペイン風邪とコロナウイルス」開催（来館者数 4,236 人）、イベント開催 3 回延 1,051 人) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・とよた歴史マイスターの認定・活動の支援 ・郷土学習スクールサポートの実施 ・歌舞伎伝承館での講座開催 ・博物館周知事業 ・あつめるプロジェクト
地域学校共働本部設置拡大、コミュニティ・スクール推進事業	地域と学校が連携・共働し、地域全体で子どもの成長を支えていく地域学校共働本部を各小・中学校に設置し、中学校区単位で、小・中学校の連携と地域ぐるみの教育を効果的に実施するコミュニティ・スクールの導入を促進する。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に本部設置、全校完了済み。（総計 103 校） ・学校間連携を支援して新たに 14 中学校区のコミュニティ・スクールを指定し、全中学校区完了（総計 28 中学校区） 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・本部が円滑に運営されるように、地域コーディネーターの研修を行う。 ・地域ぐるみで教育を推進するコミュニティ・スクール連絡会議の充実をはかる。

(2) 利用しやすい活動場所の提供

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和2年度の実績	進捗評価	令和3年度の取組予定
まちなか広場空間活用推進事業	既存の公共空間を利用して、市民が主体となった賑わいづくりを推進するとともに、将来のまちなか広場の活用アイデアや担い手を発掘・育成する。	商業観光課	・感染リスクの低い屋外のイベント会場ということで、新規利用者が増加した。 ・一方で、イベントそのものが中止になることが多く、事業は停滞ぎみであった。	C	・引き続き新規利用者を取り込むような取り組みを行う。 ・加えて、広場の新しい使い方を提案できるような取り組みを行う。 ・ペDESTリアンデッキ広場を都市再生推進法人が運営
とよたまちさとミライ塾事業	地域資源を活用した体験プログラムを集めた「とよたまちさとミライ塾」を通じて、観光の産業化を担う人材を発掘し、育成する。	商業観光課	令和元年度で市の事業は完了。 令和2年度からは「まちさとミライ塾プラス」(10/1~11/30)として、民間企業がプログラムを実施。	B	令和3年度も引き続き「まちさとミライ塾プラス」(8/1~10/31)として民間企業がプログラムを実施していく。

【2020】進捗評価 A・B 15/17

3-1 組織力強化を支援する仕組みの整備

(1) 人材や運営に関する支援策の充実

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和2年度の実績	進捗評価	令和3年度の取組予定
運営力向上支援事業	組織運営に関する各種セミナーを開催する。また、プロボノを活用した組織運営の支援や活動現場に向いた支援をする。	市民活躍支援課	市民活動団体等への支援を行う相談事業を実施した。 よろず相談会：3団体 また、NPO マネジメントに関するセミナーを開催した。 参加者数：100人 プロボノシナジープロジェクトを実施した。 団体：3団体 プロボノ：14人	B	相談事業を引き続き行う。また、プロボノについて、課題を抱える市民活動団体と課題解決に必要なスキルを持つ社会人ボランティア（プロボノ）を募集し、支援していく。
森林ボランティア始動支援事業	森林の整備を目的とした団体による自主的な活動に補助することにより、荒廃した人工林・里山林の再生、保全を図る。	森林課	結成後2年以内の2団体が83日間（延べ181人）森林整備に従事し、0.71haの間伐を実施した。	B	結成後2年以内の2団体が54日間（延べ294人）森林整備に従事し、1.30haの間伐を実施予定
自主防犯活動支援事業	地域防犯リーダーの育成や研修会の開催等により、自主防犯活動団体の活動を支援する。	交通安全防犯課	・自主防犯活動用物品や自主研修会の講師料等の支援	B	・地域防犯ボランティア・ステップアップ講座の開催（8~10月4回） ・自主防犯活動用物品や自主研修会の講師料等の支援
動物愛護ボランティアの育成及び共働事業(再掲2-1)	※2-1(1)掲載済	保健衛生課	※2-1(1)掲載済	E	※2-1(1)掲載済

(2) 資金確保に関する支援策の拡充

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和2年度の実績	進捗評価	令和3年度の取組予定
活動資金支援事業	資金調達手法に関する各種セミナーを開催する。また、市民活動促進補助金事業を実施する。	市民活躍支援課	豊田市内で活動する市民活動団体の資金支援として市民活動促進補助金を交付した。 交付団体：8団体	B	引き続き、資金獲得に向けた講座と補助金交付を行っていく予定。

【2020】進捗評価 A・B 4/5

3-2 効果的な課題解決に向けた多様な主体の共働の仕組みづくり

(1) 多様な主体の交流の場づくり

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和2年度の実績	進捗評価	令和3年度の取組予定
市民活動交流事業	多様な主体を対象とした意見交換会等の交流できる機会を提供する。	市民活躍支援課	新型コロナウイルスの状況を鑑みて中止	E	多様な主体を対象とした意見交換会等の機会を検討していく。
まちなか広場空間活用推進事業(再掲2-1)	※2-1(2)掲載済	商業観光課	※2-1(2)掲載済	C	※2-1(2)掲載済
とよたまちさとミライ塾事業(再掲2-1)	※2-1(2)掲載済	商業観光課	※2-1(2)掲載済	B	※2-1(2)掲載済
市民が発信し交流するプラットフォームづくり(再掲1-1、2)	※1-1(2)掲載済	経営戦略課	※1-1(2)掲載済	B	※1-1(2)掲載済

(2) 多様な主体の連携を促進するためのコーディネート機能の充実

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

事業名	内容	担当課	令和2年度の実績	進捗評価	令和3年度の取組予定
共働活性化対策事業	市民活動主体の事業提案を共働で事業実施するための制度の運用、研修を実施する。	市民活躍支援課	<p><職員研修> 新規職員研修 参加者：80人 共働推進担当者・責任者研修 参加者：270人</p> <p><共働事業提案制度> 行政テーマ型：エントリー 2件 採択 0件 市民提案型：エントリー 0件 採択 0件</p>	B	引き続き、共働事業提案制度を運用していく予定。
交流コーディネート事業(再掲2-1)	※2-1(1)掲載済	企画課	※2-1(1)掲載済	A	※2-1(1)掲載済
共生型サービスの構築	対象を限定せず、高齢者や障がい者、子ども等、誰もが共に過ごすことができる身近な居場所づくりをNPO法人や社会福祉法人、市民等を巻き込みながら進める。	地域包括ケア企画課 介護保険課 障がい福祉課	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、介護事業所講習会は対面で行わず、ホームページの掲載により啓発を行った。	B	新型コロナウイルス感染症対策をとった上で実施可能な情報提供等を行うことにより、新たな事業所の参入を促進する。
子どもの学習支援事業	経済的に学習の機会に恵まれない子どもたちに対し、ボランティア等による集合型学習支援を実施する。	福祉総合相談課	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的に学習の機会に恵まれない子ども達に対し、ボランティア等による集合型学習支援を市内6か所で実施。 ・総実施回数(延べ回数)：256回 ・参加児童生徒数：105人 ・ボランティア：136名 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ボランティア等による集合型学習支援を市内6か所で実施する。 ・集合型に加え、旧町村部や不登校の理由により集合型に参加することが難しい子どもに対し、訪問型学習支援を実施予定。

【2020】進捗評価 A・B 6/8